

ほっ

スピタル・がいづか

(48) ホクロ、シミに対するレーザー治療



Qスイッチ
ルビレーザー



炭酸ガスレーザー

形成外科ではレーザーによるホクロやシミの治療を行っています。

レーザー治療とは、機械により増幅された光エネルギーを生体内に伝達させ、特定の物質に光熱作用を及ぼすことにより、標的とする物質を選択的に破壊するという治療です。これにより、従来はメスによる切除でしか治療できなかった皮膚のできもの(ホクロやシミなど)を、切らずに治療することが出来ます。

レーザー装置により発する光エネルギーの波長は装置ごとに決まっており、また標的となる物質により作用(吸収)しやすい波長も決まっています。つまり、治療対象となる疾患により使用されるレーザーの種類が決まっています。

例えば、ホクロやイボなどの皮膚表面の病変には水への吸収率が高い炭酸ガスレーザーが適しており、シミや怪我の後の黒シミなど皮膚深部の病変にはメラニンへの吸収率が高いQスイッチ・ルビレーザーが適しています。

当科では炭酸ガスレーザーとQスイッチ・ルビレーザーの2種類のレーザー装置を完備しており、疾患に応じて機器を選択し使用しています。

また、疾患によっては切除をお勧めすることもあり、レーザー治療の対象となる疾患でも、保険適応となるものと適応外となるものがあります。

当科では、毎週木曜の午後にレーザー外来(完全予約制)を開設しています。レーザー治療を希望されるかたは、当院地域医療連携室へご予約ください。

形成外科部長 望月祐一

予約・問合せ先

貝塚病院

☎ 072・422・5865